

## GP Solution Case Study



今回は、廃棄物管理サービスを長年のご利用いただいております  
新日本レイキ様にインタビューしました！

### クライアントDATA

会社名：新日本レイキ株式会社  
所在地：福岡県筑紫野市二日市南1丁目4番1号  
設立：1960年  
事業内容：工業用冷却塔及び軸流送風機の設計、製作、施工及び販売  
既設冷却塔の補修及び改修工事、点検補修

工事チーム長 豊田 邦男 様(右)  
調達管理課 山下 美紀 様(左)

### 事例紹介

工業用冷却塔の工事等を行う新日本レイキ様は、日本全国かつ多品目の廃棄物をいかに適正に処理するか、全社的な廃棄物管理に課題がありました。

### BEFORE

#### 現場や廃棄物が多いほど 適正な管理が大変

— 御社から排出される廃棄物にはどのようなものがありますか？

当社では冷却塔の設計から設置・補修・更新工事まで行っており、工事現場から発生するケースが主です。代表的なものは、充填材やエミリネーターといった廃プラスチック類、木製冷却塔における廃木材や、昔の冷却塔を更新する場合は、外壁材に使用していた石綿含有のスレート材など、多品目の廃棄物が発生します。



— 廃棄物の処理に関して一番大変なことはなんでしたか？

大きく2つの課題がありました。1つ目は委託先の選定です。冷却塔工事は北は北海道、南は沖縄まで日本全国で行っており、その度に委託業者を選定しなければならないことが大変でした。

2つ目はマニフェスト管理です。紙マニフェストで運用していたため、ある現場では厚みが10cmにもなり、その分各終了票の管理や行政への報告をしなければならず大変苦労していました。

### SOLUTION

#### 全国どこでも対応可能な 廃棄物管理サービスの便利さ

— Green propを選んで頂いた理由は？



廃棄物の管理において四苦八苦していたとき、同じ筑紫野市で産廃処理をしているGreen propが目にとまりました。Green propの全国に広がる産廃業者ネットワークを信頼し、廃棄物管理サービスを利用することにしました。

各現場に対応できる処理業者選定のアドバイスや配車調整、実績管理など、私たちだけでは行き届かない細かい管理もサポートいただき、現場における廃棄物の悩み解決につながりました。予定外の廃棄物が発生した際にも迅速に対応頂き、工事担当者も大変助かっております。

当社では営業部門から工事部門まで、みんなが廃棄物処理を理解する必要があります。当社の廃棄物状況を把握頂いている御社に独自の勉強会を開催して頂いたり、電子マニフェスト導入時には、当社における運用ルールの策定から社員へ概要や操作をレクチャーして頂くなど、困ったときに柔軟に対応してくれるGreen propは重要な存在です。

### AFTER & NEXT

#### 廃棄物管理から環境管理へ

— 今後Green propへ期待することはありますか？

一番は、今のサービスを維持していただくことを望んでいます。短い工期の中で、工事の進捗に合わせて廃棄物をリアルタイムに回収してもらうことで、工事の遅延を防ぐことができています。また法改正発生もあるため、適宜情報提供とアドバイスをいただき、適正処理を維持頂けると幸いです。

また、廃棄物の適正処理は当たり前となり、これからは環境保全の意識を高めていく必要があると感じています。現場に従事しているメンバーに分別の重要性やリサイクルの流れなどの講習会を実施頂くなど、環境への配慮を社員が身につく、そんな社内環境づくりをご提案していただき、当社環境活動のレベルアップにも寄与していただけることを期待しています。

### GP担当者より

新日本レイキ様は、営業・工事・調達管理など複数部署が廃棄物に関わりがありますが、日に日に各部署の意識が高まっていると感じています。

御社の廃棄物処理の環境がサステナブルになるよう、私たちも精進して参ります。

未来デザイン室  
丸山 優実



いまさら聞けない…

# 環境・CSRの ギモン?

MASAKI NAGASHIMA



市場開発部 次長 長嶋 政貴  
2006年入社。多数の現場経験を活かし、お客様のよりよい廃棄物処理の運用や環境改善を提案している。

今回のテーマ ▶ LCA

## LCAとは?

LCA(ライフサイクルアセスメント)とは、製品やサービスの一生(製品のゆりかごから墓場まで)にかかる環境負荷を定量的にはかるための評価方法です。企業の環境マネジメントを構築するための手法として国際的に認められており、LCAの実施手順はISO(国際標準規格)に規定されています。

## LCAの考え方

原材料調達 → 生産 → 流通(販売) → 使用・維持管理 → 廃棄・リサイクル

日本では、使用・維持管理段階の環境負荷低減がよく耳にされ、節水や節電もその一例です。車業界ではハイブリット車が発売されたころ、燃費の良さに消費者は釘付けになりました。しかし、ハイブリット車特有の蓄電装置は製造に多くのエネルギーを使用したり、廃棄を適切に行わないと有害物質が流れ出る可能性があり、LCAで考えると従来の車より環境に大きな影響を与えうるといいう結果もでています。

このように、普段使用している製品・サービスが原材料調達のために自然が破壊されていたり、分別が難しい製品で埋立廃棄しかできないものとしたらどうでしょう…。私たちの目に見えない段階で重大な環境負荷を与えているかもしれないのです。

## LCAのメリット

LCAを実施、製品・サービスの各段階での環境負荷が目に見える形で分るようになり、より効果の高い環境負荷低減活動を考えることができます。また、その結果を公表することで、自社製品・サービスの環境負荷を客観的に示して消費者の購買行動に結びつけるなど、新たな側面からブランディングに繋げることもできます。

このLCA手法を用いて環境負荷を考えている製品をわかりやすく消費者に伝えるために「カーボンフットプリント(CFP)」や「エコリーフ」といった環境ラベルがあり、スーパーやコンビニにおいている製品にもこのマークがついているものがあります。多くの商品にLCA手法を用いた結果が表示され、個人がそれを見てより環境にやさしい商品を購入する等、個人の消費行動を変える一助となるといえますね。



CFPマーク



エコリーフマーク

グループ会社のATGREENではLCA導入やエコラベル取得のサポートしております。お気軽にお問い合わせください。

## GP Topics Green propの最新ニュースをご紹介します

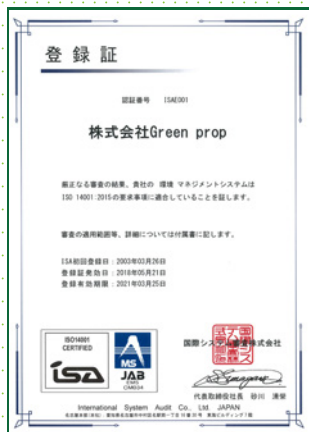
### 1 ISO14001:2015へ移行しました!

2003年に初認証を頂いてから約15年間活動を続けているのがISO14001(環境マネジメントシステム)活動です。2018年5月8日に臨時移行審査をパスし、無事にISO14001:2015規格への移行が完了しました。

今回の新規規格移行に向けて、約10か月間のプロジェクトを進めてきました。より事業活動に沿った環境活動とするために、一つ一つを見直し、新しい当社ならではのマネジメント

認証事業所 本社、本社工場、保管ヤード

- 認定範囲
1. 一般廃棄物の収集運搬
  2. 産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業
  3. 一般貨物自動車運送事業



### 2 「多摩から考えるエシカル消費」イベントに協賛しました!

2018年5月27日に開催されたイベント「多摩から考えるエシカル消費」(主催:法政大学)にGreen propとして協賛させていただきました。エシカル消費とは、環境や人・社会・地域にやさしい製品やサービスを選んで消費することです。エシカルを体感するこのイベントでは、八王子にある「宇津木の森」で草刈りや梅もぎ、木工体験を通じて林業にふれ、地域木材を使った木工製品の作業所見学を行い、多摩地域のエシカルを体感できるものとなっております。

このイベントテーマに賛同し、実際のエシカル商品として、土に還る素材でつくられたカトラリーを提供させていただきました。参加者の皆様からはたくさんの質問を頂き、大変興味を持って頂きました!



## 川添克子の編集後記

当社は、33期の終焉を迎えようとしております。7月からの新しい一年を迎えるにあたり、約4か月かけて、中長期経営計画を策定しました。その策定の軸となったのは『社会課題』です。社会課題の解決に貢献できることはないか、当社だからできることはないかと、自問自答を幾度も繰り返し行った結果を表現しました。この計

画をまずは社員と共有し、これから皆様とも共有していけることは、経営を行う者として至極の喜びであります。

当社のブランドコンセプト「For Sustainable Tomorrows～持続可能な未来のために～」を実現していけるよう、改めて邁進していきます。

代表取締役 川添 克子



# 株式会社 Green prop

0120-52-0589

info@greenprop.jp

本社：福岡県筑紫野市大字永岡 1272 番地 14  
福岡支店：福岡県福岡市博多区博多駅東 2-10-16-3F  
中国支店：広島県大竹市北栄 4-12  
東京営業所：東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 5F

WEBサイト Facebook

